

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県立美術館		
所在地	広島市中区上幟町 2-22		
設置目的	美術に関する県民の知識及び教養の向上に資する。		
施設・設備	展示室（常設，企画），講堂（202 席），県民ギャラリー，駐車場等		
指定管理者	3 期目	H24. 4. 1～H29. 3. 31	乃村工藝社・イズミテクノ美術館活性化共同事業体
	2 期目	H23. 4. 1～H24. 3. 31	(株)イズミテクノ ※縮景園と一体管理
	1 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	(株)イズミテクノ ※縮景園と一体管理

2 施設利用状況

利用状況	年 度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	3 期	28	総入館者数	515,000 人	511,489 人	48,715 人
(うち常設展)			125,000 人	106,373 人	31,828 人	△18,627 人(85.1%)
27		総入館者数	515,000 人	462,774 人	52,568 人	△52,226 人(89.9%)
		(うち常設展)	125,000 人	74,545 人	2,053 人	△50,455 人(59.6%)
26		総入館者数	515,000 人	410,206 人	△68,729 人	△104,794 人(79.7%)
		(うち常設展)	121,000 人	72,492 人	15,753 人	△48,508 人(59.9%)
25		総入館者数	515,000 人	478,935 人	50,494 人	△36,065 人(93.0%)
		(うち常設展)	121,000 人	56,739 人	△8,843 人	△64,261 人(46.9%)
24		総入館者数	490,000 人	428,441 人	—	—
		(うち常設展)	110,000 人	65,582 人	3,707 人	△44,418 人(59.6%)
2 期 23		常設展	150,000 人	61,875 人	△19,584 人	△88,125 人(41.3%)
1 期平均 20～22		常設展	135,000 人	81,459 人	△9,068 人	△53,541 人(60.3%)
(導入前) 19		—	90,527 人	—	—	
増減理由	特別展（大恐竜展，東山魁夷展）が好評であったことから，入館者数は増加した。特別展から常設展への連続鑑賞者数も増え，常設展入場者数も増加したが，目標値までは至らなかった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	展覧会別満足度アンケート調査	特別展観覧者 1,274 件，常設展観覧者 467 件
	利用者・利用団体アンケート	利用者 152 件，学校・団体 28 件
	【主な意見】	【その対応状況】
	ミニパネル(県民ギャラリー利用)が傷んでいる。	表面生地等を張替え補修した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 半期，通期報告書
	月報	○ 月次事業計画書，月次事業報告書
	日報（必要随時）	○ 事故，クレーム，不具合，お客様の要望
管理運営会議（5回・現地） (4/14, 5/25, 6/8, 9/16, 1/6)	【特記事項等】 施設の利用促進のための取組	【指定管理者の意見】 週 1 回美術館運営会議を開催し，入館促進のための対応を随時協議している。 【県の対応】 指定管理者と定期的に連絡会議を開催し，事業調整等を行った。
現地調査（4月，12月に実施）		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	3期	28	171,346		0	料金 収入 (決算額)	3期	28
27			171,346	0	27	69,816			1,070
26			171,346	4,363	26	68,746			2,179
25			166,983	△1,344	25	66,567			△301
24			168,327	△79,673	24	66,868			481
2期		23	248,000	0	2期	23		66,387	△2,500
1期平均		20~22	248,000	72,460	1期平均	20~22		68,887	2,253
(導入前)		19	175,540	—	(導入前)	19		66,634	—

※23年度までは縮景園と一体管理のため、両施設の金額を計上

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	171,346	171,346	0	
		料金収入	83,456	69,816	13,640	利用料金制(※1) 入館者数の増に伴う収入増
		その他収入	33,478	30,594	2,884	ティールームの収入増
		計(A)	288,280	271,756	16,524	
	支出	人件費	90,978	90,801	177	入館者増に伴う業務量の増
		光熱水費	63,786	69,513	△5,727	ガス代の節減
		設備等保守点検費	24,395	25,553	△1,158	施設管理に係る消耗品費の減
		清掃・警備費等	4,124	4,249	△125	清掃に係る消耗品費の減
		施設維持修繕費	6,157	4,535	1,622	レストラン床防水修繕等修繕箇所の増
		事務局費	6,323	7,801	△1,478	HP外注費の節減
		その他	69,909	66,899	3,010	喫茶原材料費の増
		計(B)	265,672	269,351	△3,679	
	収支①(A-B)	22,608	2,405	20,203		
	自主事業 (※2)	収入(C)	1,639	1,540	99	有料イベント参加者数の増に伴う収入及び支出の増。
支出(D)		864	546	318		
収支②(C-D)		775	994	△219		
合計収支(①+②)		23,383	3,399	19,984		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	継続して、ギャラリートーク等の特別展開関連イベントやロビーコンサート等を実施し、入館促進に努めた。	特別展や常設展開関連イベント等を継続し入館促進に努めた結果、入館者数は増加(対前年度比111%)したが、目標値は下回った。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	常設展において、昨年度好評であった子供を対象としたワークショップを継続して開催する等、鑑賞促進に努めた。	昨年度好評であったイベントを充実させ実施する等、県民サービスの向上に努めた。
	○業務の実施による、施設の利用促進	レストラン、ティールームのメニューに特別展とリンクしたメニューを提供し、利用促進を図った。	特別展開催時に特別展の内容に合わせた様々なメニュー開発を行う等、利用促進に努めた。
	○施設の維持管理	日常点検により施設不具合の修繕等を速やかに行い、施設の機能維持に努めた。	巡回による日常点検等により、施設不具合を早期に把握し対応する等、適切な運営管理を実施した。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	定期的にミーティングを実施し、職員間での情報共有に努めた。	定期的なミーティングによる、業務改善・サービスの向上への取組等、利用者サービスの向上に努めた。
	○効率的な業務運営	縮景園と連携し、施設の利用促進や来館(園)者へのサービス向上を図った。	隣接する縮景園と連携した取組により、施設間での利用促進に努めた。
	○収支の適正	各種展覧会情報の早期発信や好評であったイベント等を継続した結果、入館者数が増加し、収支が黒字で推移した。	適切な広報の実施や利用者ニーズに応えた取組による利用促進に努めた結果、収支は黒字を計上した。
総括		他県類似施設での管理運営経験を生かした民間企業の共同事業体として、イベントの実施等により施設の利用促進を図り、総入館者、常設展の入館者はともに前年度を上回ったが、目標値には届かなかった。	利用者ニーズに応えたイベント等の実施により、前年度に比べ、総入館者、常設展の入館者はともに上回ったが、目標値には届かなかった。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	○縮景園との一体的な管理運営による効果的、効率的な業務の推進。	○縮景園との一体管理による両施設の特徴を組み合わせた企画や広報の強化充実。
中期的な対応	○施設の経年劣化に伴う計画的な修繕。	○美術館と縮景園の一体的な管理運営による施設の魅力向上への取組の推進。 ○集客力の高い特別展の企画